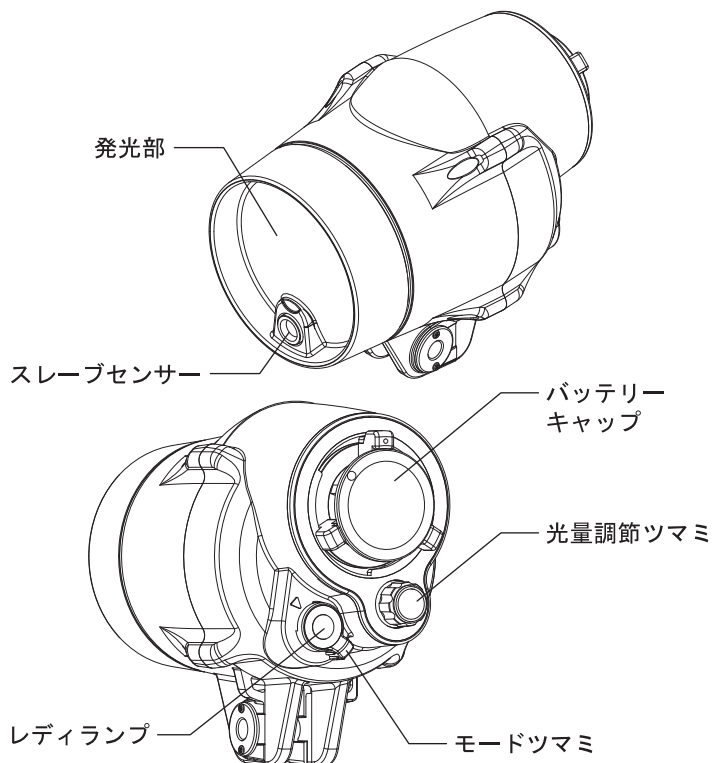


取扱説明書

この度はシーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保管してください。

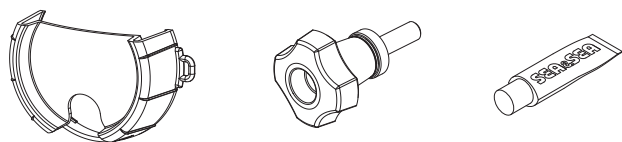
各部の名称



付属品

本製品をご使用いただく前に、すべての付属品が入っていることをご確認ください。

- 減光フィルター
- ストロボ固定ボルト
- シリコングリス



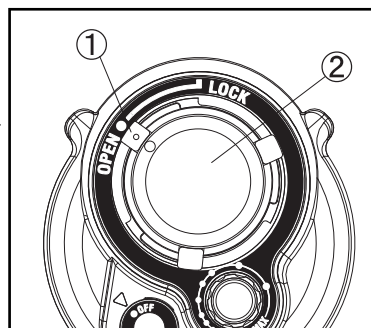
- Oリングメンテナンスマニュアル

電池の入れ方

本製品に使用できる電池は単3型アルカリ・ニッケル水素・リチウム・オキシライド電池です。

1. モードツマミがOFFになっていることを確認する。

2. ①をOPENの位置まで左に回し、②を真っ直ぐ引き抜く。



3. 向きを間違えないように電池を入れる。

4. Oリングにゴミやキズがないことを確認し、付属のシリコングリスを少量塗る。

5. バッテリーキャップの①と②のO印を本体のOPENの位置に合わせて押し込む。

6. ①をLOCKの位置まで右に回し、カチッと音がするまで確実に回す。

ご注意

- 水分を十分ふきとり乾いた手でこなしてください。
- 電池は必ず1種類のものをお使いください。また、交換時には4本同時に交換してください。

撮影のしかた

本製品はデジタルカメラの内蔵ストロボの光を感じて発光します。各メーカーより販売されているデジタルカメラは内蔵ストロボの発光回数が機種によって異なりますので、撮影前にテスト発光をおこない設定内容を確認してからご使用ください。デジタルカメラの一部の機種は、1回目の発光により調光をおこない、2回目の発光で撮影をおこないます。この1回目の調光のための発光をプリ発光といいます。通常のスレーブ機能では、プリ発光に同調して発光してしまい、2回目の発光時では充電状態にあるため同調しません。

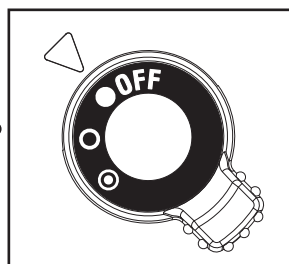
※テスト発光や設定内容の確認をおこなう場合は、デジタルカメラの内蔵ストロボを強制発光モードにしてください。

※赤目軽減機能は解除してください。(デジタルカメラの内蔵ストロボが赤目軽減機能をもっている場合は、OFFにしてください。)

モードツマミ

“OFF” 電源を切ります。

本製品を使用しない時は、モードツマミをこの位置に合わせてください。
 “O” プリ発光しないデジタルカメラで撮影する場合この位置に合わせます。
 “◎” プリ発光するデジタルカメラで撮影する場合この位置に合わせます。

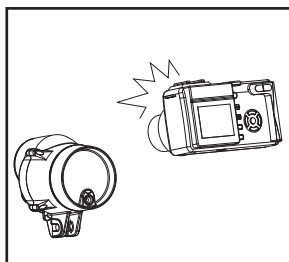


※どちらかわからない場合は、最初に“◎”の位置に合わせて発光させてください。デジタルカメラがプリ発光機能をもっている場合には発光しますが、プリ発光機能を持たないデジタルカメラの場合には発光しません。

《設定の確認方法》

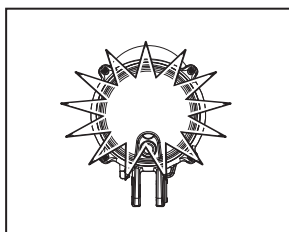
デジタルカメラの液晶画面で上記設定の確認ができます。

1. 上記設定終了後、デジタルカメラで本製品の発光部を正面から撮影します。※ストロボとデジタルカメラは1m以上離して撮影してください。



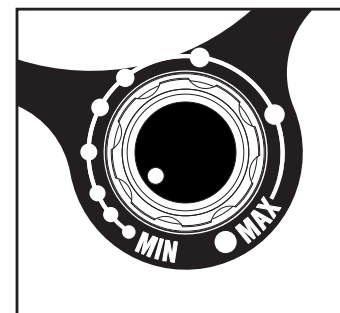
2. 再生した画像で本製品の発光部が白く光っているか、画面全体が真っ白になっていれば、設定が正しいことになります。

- 同じデジタルカメラでもモードによって、内蔵ストロボの発光回数が変わる場合がありますので、デジタルカメラのモードを変更したときは再度設定内容を確認してください。
- 水中の状態やデジタルカメラと本製品の距離によっては正常に動作しない場合があります。その場合は、別売りの光ファイバーケーブルを使用することをおすすめします。



光量調節ツマミ

光量調節ツマミを回すことにより、ストロボの光量を1EVステップで9段階に調節できます。



減光フィルター

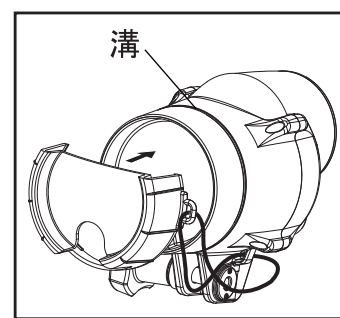
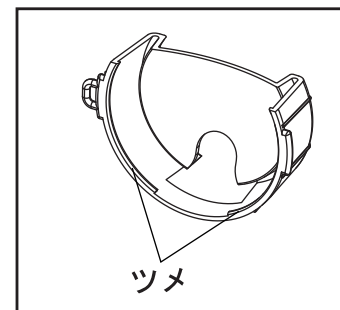
《取り付け》

減光フィルターを取り付けるときは、ストロボ本体の溝に減光フィルターのツメ(2ヶ所)がしっかりとまるようにセットしてください。

- 減光フィルターが本体の溝に正しくセットされていないと、脱落、破損の原因になります。
- 減光フィルターと本製品には脱落防止用の穴を設けていますので適当なひもを通してご使用になることをおすすめします。

《取り外し》

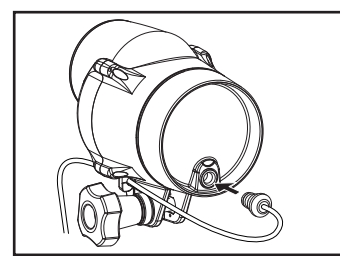
取り外すときは、減光フィルターの両サイドを指でつまみながら引き、本体の溝から外します。



光ファイバーケーブル(別売り)

別売りの光ファイバーケーブルを使用することで、各種デジタルカメラハウジングで本製品が使用できます。

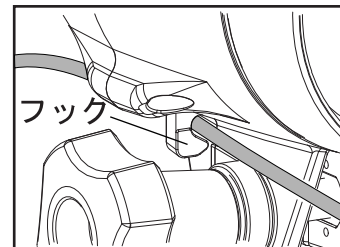
1. 光ファイバーケーブルの端部を本体のスレーブセンサー部の穴に止まるまで差し込む。
2. フックに光ファイバーケーブルを通す。



- ハウジングへの取り付け方は、光ファイバーケーブルの取扱説明書をお読みください。

ご注意

- 光ファイバーケーブルの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。



お手入れと保管上のご注意

1. 水中で使用した後は、必ず防水されている状態で、真水で洗ってください。
2. 海水水中で使用した後は、必ず防水されている状態で、十分に真水に浸してから流水で洗ってください。
 - 十分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり、水に溶けなくなります。製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、水没の原因になることもありますので、必ず真水に充分浸けてください。
3. 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
 - 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となりますのでおやめください。
4. ご使用になった後は、Oリングに薄くシリコングリスを塗ってから保管してください。また、Oリングは1年に1回、新しいOリングと交換してください。
5. 長時間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて、大切に保管してください。
6. アルコールやシンナーなどの石油系溶剤は変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
7. 本機を使い終わったら、電池を取り出して保管してください。
8. お買い上げいただいてから2年間経ちましたら、必ずオーバーホールをおこなってください。

仕様

操作部: モードツマミ(OFF/O/◎)、光量調節ツマミ(9段階)
 作動表示: レディランプ(赤)
 ガイドナンバー: 20(FULL発光時) ※陸上値(ISO100)
 照射角度: 105°×84°(水平×垂直)
 色温度: 5500K(フィルター使用時: 5200K) ※陸上値
 使用電源:

発光回数: アルカリ乾電池: 約350回
 ニッケル水素電池(2700mAh): 約490回
 オキシライド乾電池: 約420回

リサイクルタイム: アルカリ乾電池: 約2.5秒
 ニッケル水素電池(2700mAh): 約2秒
 オキシライド乾電池: 約2秒

耐圧深度: 60m
 寸法: 87×122×135mm(幅×高さ×奥行)
 重量: 540g
 水中重量: -40g
 使用温度範囲: 0°C~40°C
 材質: プラスチック(ポリカーボネート、ABS樹脂)
 付属品: 取扱説明書(1)、減光フィルター(1)、固定ボルト(1)、シリコングリス(1)、Oリングメンテナンスマニュアル(1)

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

あらかじめご了承ください。

※上記性能値は使用頻度、電池消費の度合い、充電量等により異なります。

※上記性能値は常温(25°C)時のものです。